

試走会の内容を多少変更します！

大変お待たせしています。

実は11月24日(土)に予定しています「赤間関街道中道筋」マラニック大会(仮称)の試走会ですが、まだ定員に達していません。

色々な方のご意見を伺うと、まずもって「9時間30分の時間内で77キロを完走すること自体に自信がない」という方が何人もいらっしゃいました。そして、「参加費が高い」というご意見です。

私(岡崎)としてはこの試走会に参加してくださる方は特別な方であり、最高のおもてなしをしたいと考えていました。具体的には下記のとおりです。

○コース上のスペシャルエイドを楽しんでもらう。

○功山寺、東行庵、吉田松陰先生が長崎遊学の際宿泊された宿場町「四郎ヶ原」での説明、大田・絵堂の戦いでの説明など、各ポイントで歴史にまつわる話を聞く。

○さんか記念は喜んでもらえるスペシャルなものを準備する。

○荷物・参加者輸送車は5名に1台(ワンボックスカー)を準備し、コースの途中を車で移動できるようにしておく。

前日(23日)にオプションイベントとして、「維新歴史観光ラン」を開催する。下関市の旧市街地にも明治維新にまつわる観光スポットがたくさんあるが、その中でも超レアなスポットをジョギングしながら案内する。(下関市民でも知らないようなレアなポイントあり)

○前日(23日)夜には参加者指定ホテルにしている「プラザホテル下関」で夕食兼懇親会を開催しますが、実は下関市立歴史博物館の学芸員に「明治維新と下関」について30分ぐらい楽しい雰囲気の中でお話をしていただく予定です。しかも、教育長(下関市)も同席してくださる。

○24日の試走会終了後、美祢市美東町まで車移動(約30分)して、まずはトロン温泉で汗を流していただき、その後秋吉台青少年自然の家(私の職場)で夕食を兼ねた交流会を開催します。(もちろん呑みません！)

ここで、しっかり参加者同士の交流をしましょう！

そして、実際に試走して感じたことを皆様からお伺いします。

来年の第1回大会に向けて開催要項の概要を固めようと思っています。

さて、そこで根本的な問題点を解決すべく、試走会募集要項の内容を多少修正させていただきます。

具体的には以下のとおりです。

●全コース約77キロを走り通すのではなく、旧街道の風情のあるところやロケーションの良いところを走り(30キロから35キロ)、途中の単調な部分は車移動とします。

ただし、run予定の部分も車移動をすることも出来ます。

※これによって時間的な余裕が出来るため、ホテル出発を多少遅らせたり、各ポイントでしっかり説明を聞くことができるのではないかと思います。

※走り通すことが目的ではなく、runや車移動しながら「参加者がより楽しめるよう感想・助言をいただく」ことが目的です。

●走り通さないのであれば、予定しているすべてのエイドで実際にドリンクや食べ物を準備する必要がなくなります。

そこで、今回必要なポイント以外のエイドについては「どんな物を準備するか」ということの説明(紹介)だけにしようと思います。

●現在参加賞用のTシャツはカッコいい物にしようと思ひ、美祢市出身の漫画家に図柄を描いてもらおうと考えています。

しかし、これは第1回大会へ向けて準備したいと思ひますので、今回は参加賞や記念品といった物は準備しない事にします。

上記のことから参加費も減額できます。
当初20000円という予定でしたが、16000円に変更します。

参加費(16000円)の内訳は以下のとおりです。
エイドでの飲食物、参加者・荷物輸送車、温泉入浴料、24日(土)の宿泊費、夕食兼交流会費、
25日(日)の朝食、各希望地までの輸送等

10月31日(水)までは追加の申し込みをお受けします！

長州(山口)での新しいウルトラの歴史を私たちと一緒に創っていきませんか！

この第一歩に関わっていただいた方は**プレミアムメンバー**として今後対応させていただきます！